

2017年1月27日

各 位

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社

「ポラリス第四号投資事業有限責任組合」の設立について

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社(以下、「ポラリス」)は、ポラリス第四号投資事業有限責任組合(以下、「ポラリス第四号ファンド」)を2016年12月26日をもって設立いたしました。

2004年9月のポラリスの設立から13年目を迎え、その間ポラリスは投資家の皆様方の厚いご支援を得て、2004年にポラリス第一号投資事業有限責任組合(出資総額296億円)、2007年にポラリス第二号投資事業有限責任組合(出資総額319億円)(以下、「ポラリス第二号ファンド」)、2012年にはポラリス第三号投資事業有限責任組合(出資総額391億円)(以下、「ポラリス第三号ファンド」)を設立・運用してまいりました。現在運用を行なっておりますポラリス第二号ファンドの回収、及びポラリス第三号ファンドの投資が進捗したことから、ポラリス第四号ファンド設立に向けた資金調達を行い、昨年12月26日付での設立に至りました。銀行、証券、生保、企業年金、政府系金融機関等の投資家の皆様にご参加賜り、本日現在の出資約束金額総額は325億円となっております。尚、弊社のシンガポール現地法人がアドバイスを行なう海外ファンドが本日付で設立され、ポラリス第四号ファンドと合わせますと520億円強のファンド規模となっております。今後、既存ファンドでご出資頂きました投資家様に加え、新規の投資家様にも幅広くご参加頂き、ファンド規模を拡大してまいりたいと考えております。

ポラリス第四号ファンドは「日本活性化に資する創業者精神の回帰とビジネスモデルイノベーションの促進」をテーマとしております。潜在的成長力がありながらも周囲を取り巻くしがらみや制約の中で持ち味を発揮できていない日本の中小・中堅企業に対して、スポンサーとして参画することで固有のしがらみを取り除き、企業が更なる進化を遂げるよう創業者精神への回帰を喚起し、ビジネスモデルイノベーションを促進してまいります。投資対象としては、グローバルに通用する技術・特許を有する製造業(医療関連を含む)、日本市場に強力なブランドや独特の仕組みを確立し、アジア展開のポテンシャルを有する消費財、小売・外食、サービス業を営む国内中堅・中小企業に対し、フォーカスしていく方針です。また、投資後は、ポラリス設立後約12年間で磨き上げた「ハンズオン型」の綿密なモニタリングやバリューアップへの積極関与により付加価値を創造し、投資先企業の企業価値向上に貢献してまいりたいと存じます。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社

〒100-6738 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウノースタワー38階

パートナー 密田 英夫

TEL 03-5223-6724

ポラリス第四号ファンド 概要

名称	ポラリス第四号投資事業有限責任組合
無限責任組合員	ポラリス・キャピタル・グループ株式会社
組合設立日	2016年12月26日
存続期間	2026年12月31日

ポラリス・キャピタル・グループ株式会社について

設立	2004年9月
代表者	代表取締役社長 木村雄治
資本金	2億円
本社所在地	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウノースタワー38階
事業内容	投資を通じた日本企業の事業再構築、独自の技術力やブランド力等のグローバル展開等による企業価値向上支援、並びにファンドを介したマネーフローの創出及び循環による日本経済の活性化による社会貢献
運用ファンド	ポラリス第一号投資事業有限責任組合(出資総額296億円) ポラリス第二号投資事業有限責任組合(出資総額319億円) ポラリス第三号投資事業有限責任組合(出資総額391億円) ポラリス第四号投資事業有限責任組合(出資総額325億円(2017年1月27日現在))
ホームページ	http://www.polaris-cg.com/